

官報

號外

明治三十五年一月二十四日

金曜日

印刷局

第十六回 帝國議會 衆議院議事速記第八號

明治三十五年一月二十三日(木曜日)午後一時十六分開議

議事日程 第七號 明治三十五年一月二十三日

午後一時開議

- 第一 害蟲驅除豫防法中改正法律案(政府提出) 第二讀會
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 警察署内ノ留置場ニ拘禁又ハ留置セラル、者ノ費用ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第五回內閣勸業博覽會參考館ヘ陳列ノ爲輸入スル貨物關稅免除ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第七 國有土地森林原野下戻法施行法案(松島廉作外五名提出) 第一讀會

○議長(片岡健吉君) 諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

臺灣ニ在勤スル巡查看守退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案

臺灣官設鐵道用品資金會計法案

明治三十三年度豫備金支出ノ件

明治三十三年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

明治三十三年度特別會計豫備金支出ノ件

明治三十三年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

明治三十三年度清國事件費豫算外支出ノ件

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

賣藥印紙稅規則廢止法律案

提出者 高須賀 樓君

根本 正君

金岡又左衛門君

賣藥稅法案

提出者 高須賀 樓君

根本 正君

金岡又左衛門君

鹽谷五十足君ヨリ取引所解散ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

官報號外

明治三十五年一月二十四日(三月三十一日第三種郵便物認可)

衆議院議事速記第八號

議長ノ報告 質問ノ理由ニ付キ鹽谷五十足君ノ演說

一一九

委員長及理事左ノ通當選セラレタリ

京都府下國界並郡界變更法律案

委員長 石原半右衛門君

工業試驗所ニ板硝子製造練習工場設置ニ關スル建議案

委員長 根本 正君

取引所解散ニ付質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十五年一月二十三日

提出者 鹽谷 五十足

贊成者 平田力之助

外三十一名

取引所解散ニ付質問主意書

農商務大臣ハ昨年七月未タ許可年限中ニアル取引所ニ解散ヲ命シタルハ

取引所法第二十七條ニ依ルト云ト雖モ該法第二十七條中如何ナル項目ニ依

リシ處置ナルカ了解シ能ハサルモノアリ之レ既得權上將來至大ノ關係ヲ有

スル事柄ナルヲ以テ明瞭ナル説明アラント望ム

右及質問候也

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、諸君ニ御諮リスルコトガアリ

マス、堀家虎造君病氣ノタメ本月二十一日ヨリ二週間ノ請暇、星野甚右衛門

君實父病氣ノタメ本月二十日ヨリ二週間ノ請暇、高岡忠郷君病氣ノタメ本

月二十二日ヨリ二週間ノ請暇、德差藤兵衛君病氣ノタメ本月二十一日ヨリ二週

間ノ請暇、星野助左衛門君病氣ノタメ本月二十一日ヨリ三週間ノ請暇、此各請

暇ヲ許可シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ致シマス——鹽谷五

十足君

(鹽谷五十足君演壇ニ登ル)

○鹽谷五十足君(百七番) 私ハ取引所ノ解散ニ附キマシテ、質問書ヲ提出致

シマシタ、此問題ニ附キマシテハ、唯取引所ノ解散ト云フコトノミナラズ、

其及ス所ガ政府ト國民トノ關係ニ於テ、重大ナル事件ダト信ジマスルガ故ニ、

質問ノ趣意ヲ説明スルノ已ムヲ得ザルニ至リマシタ、凡ソ此法治國ニ於キマ

シテノ、此法律規定ト云フモノハ、官民共ニ犯スコトハ出來ナイモノダラウ

ト信ジマス、殊ニ行政機關ニ於テ——行政官ニ於テ法律規則ヲ無視スルガ如

キコトガアラタキニハ、實ニ其國家ト云フモノハ容易ナラザル出來事ニ

ナッテ參ルダラウト私ハ思フ、斯ウ云フ重大ナル關係デアアルコトガ、何ニ依ッテアルカト云フト、此取引所解散ニ附イテ私ハ發見致シマシタノデゴザイマス、農商務大臣ハ昨年七月の中關東地方ノ取引所ニ、任意ヲ以テ解散ヲ命ジタモノモアリマスシ、解散命令ヲ發シテ解散ヲ命ジタモノモアリマスシ、其數ハナカノ多イデアリマス、任意ヲ以テ解散シタノニ附イテハ、何ノ差支モ何ノ疑モゴザイマセヌケレドモ、任意デナク農商務大臣ガ解散命令ヲ發シテ解散スルト云フコトハ、取引所ノ許可年限中ニ在ルモノニ對スル處置トシテハ、十分ナル理由ガナケレバ解散ヲ命ズルコトハ出來マイト思フ、果シテ農商務大臣ハ取引所法第二十七條ニ依ッテ解散ヲ命ズルト言ハレマシタ、此取引所法ノ第二十七條ト云フモノハ、然ラバドウ云フモノデアアルカト見エマスルト、斯ウ云フコトガアル農商務大臣ハ取引所ノ行為法律ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若クハ公衆ノ安寧ニ妨害アリト認ムルトキハ左ノ處分ヲナスコトヲ得、解散停止一部ノ停止役員ノ解散會員若クハ仲買人ノ營業停止若クハ除名ニ斯ウ云フモノナンデアリマス、ソコデアリ見エマスルト云フト、要スルニ取引所ノ行為ガ法律ニ違反スルトカ、或ハ取引所ノ行為ガ公益ヲ害スルトカ、取引所ノ行為ガ公衆ノ安寧ニ妨害アリト認ムルトカ云フ、此三ツノ項目ニ觸ル、モノデナケレバ、全體取引所ト云フモノハ解散セラルベキモノデハナイノデゴザイマス、勿論此取引所ガ正當ノ行為ヲ爲シテ——當然爲スベキ正當ノ行為ヲ爲シテ居ルナラバ、公益ヲ害スルトカ安寧ニ妨害アリト認メラレトカ云フ場合ガ、アルベキ筈ハナイノデアリマス、若シモアリトスレバ、元來取引所ト云フモノハ、存置スベカラザルモノデアアルコト云フコトニナルデアアルカラ、絶對的ニ此取引所法ト云フモノモアルコト止メテシマハナケレバナラン、若シ又不都合ガアルナラバ、取引所法ヲ改メテ其患ノナイヤウニ、取引所法ノ改正ヲスルノ必要ガアルノデアリマス、サウスルト免モ角モ取引所法第二十七條ニ依ッテ解散ヲ命ズルト云フコトハ、取引所ガナスベキ正當ノ行為ニアラザル行為ヲ取引所ガ爲シタト云フトキデナケレバナラン、サウレテ法律ニ違反シタトカ、又ハ公益ヲ害シタトカ、若クハ公衆ノ安寧ヲ妨害シタ場合ニ於テ、始テ適用スベキ法文デアアルト思フ、此外ニハドウシテモ日本ニ於ケル取引所ト云フモノハ、解散サレル場合ト云フモノハナイヤウニ、私共ハ考ヘラレルノデアアル、所ガ事實ハ斯ウ云フコトガアルノデス、昨年關東地方ノ取引所ノ中デ、解散サレタ中ニハ勿論種々ナルモノガゴザイマセウケレドモ、中ニ就イテ私共ノ最モ其事情ヲ能ク知ッテ居リマスル、高崎取引所ト云フモノニ附イテ取調ベテ見マシタ所ガ、少モ此二十七條ニ抵觸スルガ如キ行為ハ、同取引所ニハナカッタノデス、獨リ私ガナイト信ズルノミナラズ、ナイト云フチヨット一例ガアルノデス、チヨット證據ニナルモノガアルノデス、ソレハ昨年ノ六月中農商務省カラ屬官ヲ派遣セラレテ、高崎取引所ノ内部ヲ能ク調査サレタサウデス、其時ニ何ノ不都合モナク、寧ロ地方ノ小取引所トシテハ、整頓シテ居ル方デアアルト云ウテ、譽メラレタ位デアッタト云フコトデ

ゴザイマス、然ルニ其七月——ソレガ六月ノコトデ、七月ニナリマスト云フト、農商務省カラ取引所ノ所長ヲ召喚サレテ、任意ヲ以テ御前ノ取引所ハ解散ヲシテハドウダラウト云フコトノ、相談ガアッタサウデゴザイマセケレドモ、是ハ高崎市ノタメニ重大ナル關係ヲ持ツコトデモアリ、殊ニ取引所ノ會員十分ニ協議ヲシテノ上デナケレバ、御答ハ出來マセヌカラ、暫クノ間猶豫ヲ與ヘテ賞ヒタイト云フコトヲ言ハレタ所ガ、ソレハナラヌ、二十日マデニ——七月ノ二十日マデニ何トカ挨拶ヲセイト云フコトデアッタ、所ガモウ時日ガアリマセヌモノデスカラ、連モ二十日マデニハ御答ガ出來マセヌ、極ク取急イデアリマシタモ、二十五日マデハドウシテモ掛ラウト思ヒマスカラ、二十五日マデ御猶豫ヲ願ヒタイト云フコトヲ申シタ、ソレナラバサウスルガ宜カラウト云フコトデ、其取引所ノ所長ハ歸國致シマシタ處ガ、其七月ノ二十日ニ至ッテ、農商務省ハ高崎取引所ニ解散ヲ命ズルト云フ、解散命令ヲ下シタノデゴザイマス、是ニ於テ本員等ハ大ニ疑ヲ起シテ參ッタノデアリマス、先ヅ第一ニ取引所法第二十七條中ノ如何ナル項目ニ依ッテ、處分ヲサレタコトデアラウカ、高崎取引所ト云フモノハ前ニ申シマス通、別段屬官ヲ派遣シタトキニ不都合ハナシ、ソレカラ取引所ガ當然爲スベキ行為デナイ行為ヲ爲シタト云フコトモナイト、云フモノトスレバ、何ニ依ッテ二十七條ノ項目ニ依ッテ解散ヲサレタコトデアアルカ、其項目ガ分ラナイノデアリマス、ソレカラ二十五日マデニ御答ヲスルト云フ約束ヲシテ歸ッテ居ルノニ、其二十五日ヲ待タズシテ、二十日ヲ以テ解散ヲ命ジナケレバナラヌト云フ程、何カ急速ヲ要スル場合ガアッタノデアアルカ、是モ分ラナイ、若シ又取引所ニ不都合ガアッタトシタナラバ、相談ヲスル必要ハナカラウ、別ニ説諭シテ解散ヲサセル程ノ必要ハナカラウト思フ、是ハ農商務大臣ノ職權トシテ不都合ガアルナラバ、斷然解散ヲ命ジテ何ノ差支モナカラウ、相談ヲスル必要ハ決シテナカラウト思フ、若シ説諭ヲスルニシタ處ガ、其不都合ノ點ヲ擧ゲテ聞カセタナラバ、不都合ノ點ヲ擧ゲテサウシテ解散ヲ命ズルト云フノガ、當リ前ノ處置デアラウト私ハ考ヘル、又或ル取引所ガ若シ多少ノ不都合ガアッタトシタ處ガ、此取引所ノ處分トシテハ、解散ヨリ重イ處分ハナイノデス、即チ此取引所處分ニ於ケル極刑ヲ加ヘルト云フ程ノコトガ、突然ニ起ルト云フコトハ、餘程不思議ナコトデハナイカト思フ、多少ノ不都合ガアッタトシタ處ガ、突然解散ト云フ極刑ヲ加ヘナケレバナラヌ程ノコトハナカラウト思フ、順序トシテモ停會トカ若クハ何トカ、其不都合ノ點ヲ擧ゲテ、サウシテ相當ノ處分ヲスルガ當リ前デアラウト思フ、況ヤ此高崎取引所ノ如キハ、屬官ヲ派遣シテ調ベタトキニモ、何ノ不都合モナシ、ソレカラ歸國致シテ評議ヲ遂ゲタ上デ御答ヲスル、二十五日マデ待ッテ呉レト云ッテ約束シテ歸ッテ、其二十五日ヲ待タズシテ二十日ニ解散ヲスルガ如キ處置ニ至ッテハ、甚ダ本員等ノ不審ニ堪ヘナイコトダト思フノデス、想フニ此處置ニ出マシタノハ、或ハ農商務大臣ハ此小地區ニ於ケル取引所ト云

フモノハ、餘り有益ナモノデナイ、害ハアルケレドモ益ハナイ所ノモノデア
ルカラ、解散シテシマハウト云フコトヲ、大體論ニ置イテ御極メニナッテ、ワ
レカラ處置サレタモノデアラウカト想像ガ出來ル、果シテサウデアルト致
シマスルト云フト、又茲ニ斯ウ云フ疑ガ起テ來ル、公平ノ府トモ言ハル
ル政府タルモノガ、不公平ナ處置ヲ爲シタルデアルト云フ疑ガ起テ來ル、
米穀集載其他ノ事情ニ於テ、高崎取引所杯ヨリハ、ヨリ多ク不必要ト認メ
ルコトノ出來ル、取引所デ、今日ニ至テマダ解散ヲサレナイモノガ幾ラモ
アルノデアリマス、シテ見ルト不公平デアルト云フ疑ガドウシテモ起ッテ
來ル、マサカニ當局大臣モ左様ニ不都合ナ不公平ナ處置ヲサレルコトモナカ
ラウト信ゼラレル、ドウ云フコトデアルカ、茲ニ至ッテ解釋ニ困ルノデス、何
故ニコシナ奇妙頂來ナコトガ出來タノデアラウカ、分ラナクナッテ來ル、所ガ
斯ウ云フ説ガアルノデス、當局者ハ唯今ノ如ク不必要論カラ起ッテ解散ヲス
ルト云フコトヲシテ、先ヅ其手順トシテ取引所ノ内部ヲ能ク調べテ見テ、不
都合ノアルモノハ勿論解散ヲスル、不都合ノナイモノニシテモ、成ルベク任
意解散ヲ命ジテ解散サセウ、其解散ニ若シ應ジナイ場合ガアツタトキニ、
斷然解散ヲ命ジテ解散サセウ、附イテハ——幸ニ取引所ノ解散命
令ト云フモノニ附イテハ、行政訴訟ヲ起スノ途ガナイ、デツレ故ニ其斷行
ヲスルニ附イテ何ノ妨モナイカラ、ドシトヤッテシマハウ、斯ウ云フ考ヘ
カラ或ハヤツタモノデハナイカト云フ疑ガ起ッテ來ル、或ハツレデヤツタノ
ヲウト私ハ思フ、然ルニ高崎取引所ノ如キハ、前申シマシタ通色、ノ不平ヲ
持ッテ居リマスモノデスカラ、到頭行政裁判所ニ之ヲ出訴スルニ至ッタノデ
ス、其他高崎取引所以外ニモ出訴シタル所ガアルト云フコトデスガ、先ヅ私ノ
能ク知ッテ居ルノハ高崎取引所デスガ、確ニ出訴ヲ致シマシタノデス、サウ
スルト當局者ハ、是ハ始め行政訴訟ヲ起スノ途ガナイト云フコトヲ信ジテ、
少ハ不法デモ構ハズ斷行シタノニ、行政訴訟ヲ起サレタモノダカラ、是ハ少
シ驚イタト云フ所カラ、此處分ガドウナルモノデアラウカ、若シ當局者ニ不
利益ナ裁判デモアルト云フト、容易ナラザルコトニナルト云フノデ、豫テ取
調ベテ置イテ、解散ヲ命ジヤウト、調べノ出來テ居ル取引所ニ向ッテ、解散命
令ヲ發スルコトヲ猶豫シテ置イタ、斯ウ云フコトデアルト云フ説ヲ私ハ聞キ
マシタ、或ハ是ガ事實デアラウト私ハ思フノデス、是ガ果シテ事實デアルト
スルト、當局者ハ斯ウ云フコトニナル、縱令公益ト認メタル好意カラ出タニ
モセヨ、惡意カラ出タノデナイニモセヨ、不法ト知リツ、訴訟ノ途ガナイト云
フコトヲ利器トシテ、口ヲ第二十七條ニ藉ッテ解散ヲ斷行シタト云フコトニ
ナルノデアリマス、ドウデゴザイマセウカ、政府タルモノノ行動トシテ左様ナ
卑怯ナ處置ガ、正當ナ處置デアリマセウカ、吾々ハ如何ニモ政府ノ行動ト見ル
コトハ出來ナイ、卑怯千萬ナ處置デアルト私ハ思フ、皆ニ行動ガ賤劣ナルノミ
ナラズ、一國ノ行政官タルモノガ斯様ナコトヲシテ國民ニ接スルコトニナッ
タラバ、國民ノ既得權ト云フモノハ何ニ依ッテ保タレドゴザイマセウカ、國

民ノ生命財產ト云フモノノ安寧ハ、何ニ依ッテ保タレドゴザイマセウ、國民
ノ生命財產ト云フモノ、安寧ハ、何處ニ信頼スル所ガゴザイマセウ、此蒼生
ヲ奈何ト云フ嘆ヲ發スルヨリ仕方ガナカラウ、斯ウ云フヤウナコトハ、專制政
治ノトキニ於テスラモ容易ニ爲スベカラザルコトデアアル、一國ノ平和ヲ保ツ
上ニ於テ、斯ウ云フコトハ容易ニナスコトデアナイ、況ヤ今日ノ我國ノ有様ニ
於テ、斯ノ如キコトガ當局者ニ於テ爲サレ、現政府ニ於テ爲サレタトスレバ、
是ハ由ヤシキ大事デアルト私ハ信ズル、ツレ故ニ此質問書ヲ提出シマシタノ
デスガ、是ニ附イテハ私ガ言フマデモナク、速ニ且ツ明瞭ナル説明ヲ當局者
ハ與ヘルノ義務ガアルト思フ、十分ナル説明ヲサレテ、本員等ノ疑ヲシテツ
シナ疑ハナカツタト云フコトデアラナラバ、獨リ本員ノ満足ノミナラズ、實
ニ國家ノ満足ダト私ハ思ヒマス、是ガ私ノ質問ノ趣意デゴザイマス
○議長(片岡健吉君) 是ヨリ議事日程第一ノ議事ニ移リマス、害蟲驅除豫防
法中改正法律案、政府提出、第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略シマス

第一 害蟲驅除豫防法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

害蟲驅除豫防法中左ノ通改正ス

「府縣知事」ヲ「地方長官」ニ改ム

第九條中「府縣稅」ノ上ニ「北海道地方費」ヲ加フ

第十條中「動物」ノ下ニ「又ハ蠍菌」ヲ加フ

第十三條 本法中市町村ニ關スル規定ハ北海道ノ區町村、沖繩縣ノ區間切
島及市制、町村制ヲ施行セサル地方ニ於ケル市町村ニ準スヘキモノニ之
ヲ準用ス

(政府委員農商務總務長官安廣伴一郎君演壇ニ登ル)

○政府委員 安廣伴一郎君 本案ノ提出ニナリマシタル理由ハ、北海道其他
本法ノ適用以外ニ在ル所ノモノニ、本法ヲ適用シタイト云フ理由ト、第二ハ近
時ハ蠍菌ト云フモノガ、農作物ノ大イニ害ニナルト云フコトヲ認メマシタカ
ラ、是モ驅除豫防法ノ中ニ入レタイト云フ所カラ、本案ノ提出ニナリマシタ
次第デゴザイマス、御協賛アラント云フ……
○議長(片岡健吉君) 特別御質問ガアリマセネバ、議事日程ノ第二、右議案
ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(二百二十四番) 議長カラ指名ヲ願ヒマス

○議長(片岡健吉君) 九名ノ特別委員ヲ議長カラ指名シテ御異議アリマセヌ
カ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) ツレナラバ其通決シマス、次ニ議事日程ノ第三警察署
内ノ留置場ニ拘禁又ハ留置セラルル者ノ費用ニ關スル法律案、政府提出、第

一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略シマス——司法大臣清浦奎吾君

第三 警察署内ノ留置場ニ拘禁又ハ留置セラルル者 第一讀會

監獄則第一條ニ依リ警察署内ノ留置場ニ拘禁又ハ留置セラルル者ニ關スル費用ハ總テ警察署ヲ以テ之ヲ支辨ス但シ其ノ費額ニシテ北海道地方費及府縣ノ負擔ニ屬スル部分ハ命令ノ定ムル所ニ依リ監獄費ヨリ之ヲ償還スヘシ

附則

本法ハ明治三十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

從來監獄所屬ノ物品ニシテ警察署内ノ留置場ニ設備セルモノハ本法施行ノ際之ヲ北海道地方費及府縣ノ所屬トス但シ警察署ノ國庫支辨ニ屬スル地方ハ此ノ限ニ在ラス

(司法大臣清浦奎吾君演壇ニ登ル)

○司法大臣(清浦奎吾君) 監獄則第一條ニ依リマシテ、警察署内ノ留置場ニ拘禁又ハ留置セラル、者ノ費用ハ、監獄費ヲ以テ支辨スベキ規定ニナッテ居リマス、ソレデ食費及一身上ニ係ル所ノ費用ハ、實費ヲ以テ支給シ、其他衣服備付物品等ノ費用ハ、現品ヲ支給致シテ居ルヤウナ手續ニナッテ居リマス、然ルニ此物品ノ授受保管等ノ上ニ附キマシテハ、甚ダ其手續ガ煩雜デアリマス、特ニ監獄費ノ國庫支辨ニナリマシタル以來ハ、會計法規ノ規定上ニ於テ、益ノ費用ノ區分物品ノ保管等ニ、煩累ノ手續ヲ要スルヤウナ次第デアリマスカラ、今後ハ警察署ヲ以テ一切ノ費用ヲ支辨セシメ、而シテ追ッテ監獄費ヨリ一定ノ金額ヲ、地方費ノ方ニ償還スルコトニ致シマスレバ、極テ煩雜ナル手續ヲ省イテ、其取扱ガ極テ簡便ニ歸スル次第デアリマス、是レ即チ本案ヲ提出致シタ次第デアリマスカラ、速ニ審議協賛アランコトヲ希望致シマス

○議長(片岡健吉君) 格別御質問ガアリマセネバ、議事日程ノ第四ニ移リマス、九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名シテ、御異議アリマセヌカ

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス、議事日程ノ第五ニ移リマス、目賀田政府委員

第五 第五回内國勸業博覽會參考館ヘ陳列ノ爲輸入 第一讀會

第五回内國勸業博覽會參考館ヘ陳列ノ爲輸入ニ關スル法律案(政府提出) 第五回内國勸業博覽會參考館ヘ陳列ノ爲輸入セラルル外國貨物ニハ左ニ掲クル場合ヲ除クノ外關稅ヲ課セス

- 一、輸出ノ爲ニ非スシテ博覽會場ヨリ引取ラルトキ
- 二、輸出ノ爲引取ラル貨物ニシテ博覽會閉會後二箇月以内ニ輸出セラレサルトキ

(政府委員大藏省主稅局長目賀田種太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(目賀田種太郎君) 昨年ノ農商務省告示百三十九號ノ二條三條ニ依リマシテ、第五回内國博覽會ニ於テ、外國ノ品ニシテ産業上參考ト爲ルベキモノハ、出陳ヲ許サレテ居リマス、其品ニ對シテハ其出陳中ハ關稅ヲ課セヌト云フノ案デアリマシタ、即チ内地ノ産業ノタメニハ最モ便利ヲ與ヘヤウト云フ考デアリマス、至極重要ノコトデアリマス、殊ニ第五回博覽會ノタメニハ、最モ利益アル案デアリマス、御協賛ヲ請ヒマス

○議長(片岡健吉君) 格別御質問ガアリマセネバ、議事日程ノ第六ニ移リマス、九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名シテ御異議アリマセヌカ

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス、議事日程ノ第七ニ移リマス、議案ノ朗讀ヲ省略シマス、松島廉作君

第七 國有土地森林原野下戻法施行法案(松島廉作 第一讀會)

第一條 國有土地森林原野下戻法第二條第一號ノ公簿若ハ公書ニ依リ所有

又ハ分收ノ事實ヲ證スルモノトハ左ニ列記シタルモノヲ謂フ

- 一 檢地帳ニ段別ヲ掲ケ村持トアルモノ
 - 二 檢地帳ニ山高何程トアルモノ
 - 三 裁許狀ニ某村持又ハ某村進退若ハ支配トアルモノ
 - 四 裁許狀ニ林場ト定メ植林開墾ヲ禁ストアルモノ
 - 五 裁許狀ニ入會村ノ内某村某村ハ柴草ノミヲ採收スヘシ某村某村ハ立木ヲ採收スヘシトアルモノ
 - 六 裁許狀ニ入會村一同ノ協議ニ非サレハ山札ヲ發シ札米ヲ取ルヘカラストアルモノ
 - 七 公ナル契約書ニ他村ニ入會ヲ許シタルモ若干種ノ立木伐採ヲ許サストアルモノ
 - 八 公ナル契約書ニ他村ニ其ノ他ノ一部又ハ全部ヲ貸與シ又ハ山札ヲ以テ入會ヲ許シ札米ヲ收ムトアルモノ
 - 九 其ノ他公簿若ハ公書ニ所有又ハ分收ノ事實ト認ムヘキ廉アルモノ
- 第二條 國有土地森林原野下戻法第二條第二號ノ高受又ハ正租ヲ納メタル證アルモノトハ左ニ列記シタルモノヲ謂フ
- 一 年貢割付書又ハ皆濟目錄ニ高何程トアルモノ但シ小物成高ハ此ノ限ニ在ラス
 - 二 年貢割付書又ハ皆濟目錄ニ年貢、山手、野手、山役、野役トアルモノ但シ定納タラサル山役、野役ハ此ノ限ニ在ラス
 - 三 其ノ他各藩ノ制度ニ於テ山野ノ租ト認ムヘキモノ

第三條 公簿若ハ公書ニ民有ト認ムヘキ事實ト官有ト認ムヘキ事實ト並存スル場合ニ於テハ左ノ區別ニ依ル

一 前ノ事實ト後ノ事實ト相異ナリテ其ノ性質相容レサルモノハ前ノ事實ニ從フ

二 前ノ事實ト後ノ事實ト相異ナルモ後ノ事實ハ前ノ事實ヲ變更シタルモノト思料セラルトキハ後ノ事實ニ從フ

三 名稱ト事實ト相反スルモノハ事實ニ依ル

四 數箇ノ名稱ヲ有スルモノハ一ノ正シキ名稱ニ從フ

五 總テノ點ニ於テ官民何レトモ區分スル能ハサルモノハ其ノ地ヲ折半ス

第四條 國有土地森林原野下戻法施行以後本法施行以前ニ處分ヲ受ケタル者ニシテ本法ノ規定ニ違ヒタルモノハ本法施行ノ日ヨリ一箇年以内更ニ下戻ヲ申請スルコトヲ得

其ノ代金ヲ下付ス

(松島廉作君演壇ニ登ル)

○松島廉作君(二百六番) 諸君、唯今問題ニナツテ居リマス所ノ國有土地森林原野下戻法施行、此法案ハ本員外五名ヨリ提出致シタモノデアリマス、本員ガ提出者ニ代リマシテ、是ヨリ提出ノ理由ヲ聊カ説明ヲ致サウト思ヒマス、此案ハ御承知ノ如ク第十三議會ニ於キマシテ、此院ニ於テ協賛ヲ與ヘマシテ、法律ト爲ツテ發布セラレテ居リマス、國有森林原野下戻法、此法律ニ向ヒマシテ一ノ説明ヲ加ヘマシテ、其施行ヲシテ明白ニ且ツ確實ニ行ハシメタイト云フ精神ニ外ナラナイデアリマス、下戻法ト云フモノハ、御承知ノ如ク、地租改正處分ニ依ツテ官有地ニ編入サレマシタモノ、社寺上地應分ニ依ツテ官有地ニ編入サレマシタモノ、及府縣設置以後上地處分ニ依ツテ官有地ニ編入サレマシタモノ、其誤謬ヲ訂正シヤウト云フ趣意ノ法律デアリマス、所デ内容ニ附イテ申シマス、其内最モ多數ナルモノハ、地租改正ノ當時ニ於テ公有地ト爲ツテ居ルモノ、官民有區分ヲ誤ツタ部分ガ最モ多ク、而シテ下戻法案ニ於テ官民區分ニ適用サルベキ箇條ハドレト云フト、御承知ノ通ニ唯二項シカアリマセヌ、ソレハ同法ノ第二條一項及二項デアリマス、ドウ云フ風ニ書イテアルカト云フニ、一項ニハ公簿若クハ公書ニ依リ所有又ハ分收ノ事實ヲ證スルモノト、斯様ニナツテ居ル、又二項ニハ高受又ハ正租ヲ納メタル證アルモノト、斯様ニナツテ居ル、一見シテ明瞭ナルガ如クデアリマスガ、併ナガラ一步進デ其實際ノ有様ヲ研究スルト、ナカノ明白デアルト云フコトハ言ヘヌデアリマス、ナゼナレバ御承知ノ如ク、官民有ノ區分ハ、地租改正ノ以前ノ有様ニ依ツテ區別スルト云フノデ、實際ヲ云フト、維新ヨリ以前特ニ元和慶長ノ昔ニ溯テ調ベナケレバナラヌ物柄デアリマス、而シテ其當時ノ文書ヲ見ルニ、勿論今日トハ用語モ變テ居リ、今日

ノ如ク法典ノ完備ナルモノガアル譯デハナイ、ソレ故ニ此ニ於テ所有ノ事實ヲ證スルモノト書イテアツテモ、實際ニ當ルト如何ナル事柄ガ、所謂所有ノ事實デアアルカト云フ問題ニ至ルト、餘程苦ムノデ、ノミナラズ人々其見解ヲ異ニスルノデアリマス、而シテ唯今當局者ハドウ云フコトデ區別ヲシテ居ルカト云フニ、其事柄ハ私ノ知ル所デハナイガ、想フニ人々意ニ任カシテ、思フ儘改テ居ルニ外ナラヌト思フ、ソレ故ニ此等ノコトニ附イテ、斯ク斯クノ事實ハ即チ所有ノ事實デアアル、斯ク斯クノ事柄ハ所有ノ事實ヲ認メラレヌト云フコトヲ施行法ニ掲ゲルハ、今日ニ於テ必要デアラウト思ヒマス、提出者ハ成ルベク調査ヲ致シテ、ソレノ掲ゲテ居リマスガ、是等ノ項目ニ附イテハ諸君ニ御意見ノアルコトデアアルト思ヒマス、若シ之ニ修正ヲ加ヘラル、アラバ、提出者ハ喜デ其御説ヲ聞クノデアリマス、是ガ下戻法ノ第二條ニ對スル説明ヲ加ヘナケレバナラヌト云フ理由デアリマス、ソレカラ二ノ受高又ハ正租ト云フモノニ至ルト、愈々困難ナ事實ガアル、是モ一見スルト受高又ハ正租ト云ヘバ、誠ニ難作モナク、其事柄ヲ知り得ルヤウデアリマスガ、幕府ノ制度ヲ觀ルベルト、高ト云フモノニモ種々ノ高ガアル、其一二ノ例ヲ申セバ、檢地ヲ受ケルモノ同シヤウニ受ケタコトモアル、其後ニ至ツテ野役山役ト云フモノヲ高ニ結ンダノモアル、又小物成ト云フ高モアル、ソレガタメニ高受又ハ正租云々トアツテモ、如何ナル高ヲ以テ之ニ當ルベキモノトスルカ、是レ亦人々見解ヲ異ニスルノデアアル、正租ト云フモノニ至ツテハ、是ハ最モ其内ノ複雜困難ヲ極メテ居ルモノデアアル、或ハ山年貢ト稱スルモノガアル、山手米ト稱スルモノガアル、或ハ山役米ト稱スルモノガアル、其納メテ居ルモノモ米モアリ錢モアリ、薪炭若クハ材木或ハ萱草ノ如キモ租稅トシテ納メテ居ル者モアル、各藩各其取扱ヲ異ニシテ居ル、斯ノ如キモノデアリマスカラ、正租ト云フコトニ至テモドレガ正租デアアルカト云フ問題ニ至ルト、甚ダ其區分ニ苦ム、是モ亦今日ノ實際ニ於テハ意ニ任カシテヤツテ居ルニ過ギンノデアリマス、斯様ニ法律ニ掲ゲテアリマシテモ、其事柄ガ明確デナイタメニ、下戻法ノ施行ト申ス事柄ガ、今日ニ至ツテ法律發布以來、幾多ノ歲月ヲ經テ居リマスガ、満足ナル結果ヲ見ナイ、之ガタメニ茲ニ施行法ヲ作ツデ、サウシテ是等ノ事柄ヲ明ニ規定シタナラバ、當局者モ其取扱ニ於テ甚ダ便利デ、人民モ又大ニ便宜ヲ得ルコトデアラウト考ヘマス、尙ホ其外ニ法律ニ於テ規定セント欲スル箇條ガ二箇條アリマス、ソレハ前ニ申ス如ク、維新以前三百二年ニモ互テ取調ヲスルコトデ、其間ノ事實ニ就テ見マスルト、或ハ官有ヲシク解セラル、モノモアリ、民有ヲシク解セラル事實モアリマス、所デ少デモ官有ヲシキモノガアレバ、舉ゲテ官有ニシテシマフト云フコトハ、是ハ隨分偏頗ナコトニナルト言ハナケレバナラヌ、丁度少デモ民有ヲシキコトガアレバ、民有ニスルト同シコトデアアル、此三百年ノ間ニ於テハ、制度モ追々變テ居ル、其取扱モ變テ居ル、名稱モ變テ居リマス、サウシテ見ルト如何ナルモノヲ民地トスル、如何ナルモノハ官地トスルト云フコトニ於テ、一二

三ノ標準ヲ定メト前ニ申シテ廉ミヲ規定シテモ、其實效ヲ奏シナイコトニナル、此ニ於テ是等ノモノハ、如何ナルモノハ區別ヲスルカト云フコトヲ規定致シタイト申スノガ一箇條デアリマス、諸斯様ニ規定シテ見マスルト、玆ニ是非トモ併テ規定セバナラヌ事實ガ生シテ來ル、ソレハ下戻法實施以後今日ニ至ルマデノ間ニ、唯今規定シヤウト云フ、其規定ニ反イテ、不許可ノ處分ヲ受ケタルモノ、處置デアリマス、若シ早ク此施行法ト云フモノガ定テ居リマスナラバ、左様ナ不幸ニ遭ハヌコトハ申スマデモナイコトデアリマス、シテ見マスルト玆ニ此法律ヲ定メルト云フナラバ、此分ニ對シマシテハ——左様ナル分ニ對シテハ、相當ノ救済ノ道ヲ與ヘナケレバナリマセヌ、ソレ故ニ下戻法實施以後、此施行法施行ノトキマデノ間ニ、此規定ニ反イテ不許可ノ處分ヲ受ケマシタモノハ、更ニ一箇年間申請ヲ爲スノ猶豫ヲ與ヘヤウト云フ趣意デアリマス、以上述べマシタモノハ、即チ此施行法ヲ提出致シマス精神趣意デアリマス、若シ此施行法ノ如キモノヲ定メマセズシテ、唯今ノ儘デ參リマシタナラバ、當局者ハ意ニ任セテ或ハ許シ或ハ許サヌト云フヤウナ結果ヲ見ルノ外ナイと思ヒマス、斯様デアリマスルト、其間ニ言フベカラザル弊害モ亦生ズルノデアリマス、若シ此事柄ヲ或ハ狹クシ或ハ廣クシ、其事柄ニ於キマシテハ諸君ノ見ル所ニ於テ、如何ニ御修正ヲ加ヘラレマセウトモ、提出者ニ於キマシテハ喜デ御説ニ從フノデアリマスガ、何トカシテ此規定ヲ致シマセヌデハ、到底下戻法ノ趣意ヲシテ、圓滿ニ正確ニ行レシムルト云フコトハ、極テ難イコトデアルト信ジマス、ソレ故ニ此法案ヲ提出致シマシタ譯デアリマスカラ、ドウゾ其趣意ヲ御諒知下サイマシテ、速ニ成立致サンコトヲ希望致シマス

○恆松隆慶君(二百二十四番) 此案ニ就イテハ各地事情ヲ異ニスル事柄デアリマスカラ、十八名ノ委員ヲ議長カラ御指名ナランコトヲ希望致シマス

(贊成「ト呼フ者アリ」)

○議長(片岡健吉君) 恆松隆慶君カラ本案ニ附イテ十八名ノ特別委員ヲ議長ガ指名スルト云フ動議ガ出マシタガ、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通過シマス、是ヨリ報告ガアリマス

(書記朗讀)

委員ヲ指定スルコト左ノ如シ

害蟲驅除豫防法中改正法律案

井上 信八君 林 彦一君 兒玉 仲兒君
金 井 貢君 新 開 貢君 井上彦左衛門君
藤 沼 丈吉君 佐藤 宗彌君 江角千代次郎君
警察署内ノ留置場ニ拘禁又ハ留置セラル、者ノ費用ニ關スル法律案
早川 龍介君 中 埜 廣太郎君 松岡 長康君

赤土 亮君 野間 五造君 中山 平八郎君
田邊 爲三郎君 多田 通君 天野 若圓君
第五回内國勸業博覽會參考館へ陳列ノ爲輸入スル貨物關稅免除ニ關スル法律案

渡邊 猶人君 中田 彌平君 松本 正友君
有馬 要介君 持田 若佐君 室 孝次郎君
大津 淳一郎君 小松 喜平治君 高梨 哲四郎君
國有土地森林原野下戻法施行法案

山下千代雄君 關 信之介君 永井 嘉六郎君
西原 清東君 有村 連君 千田 軍之助君
高橋 九郎君 齋藤 卯八君 國重 政亮君
大村 和吉郎君 門馬 尙經君 降旗 元太郎君
佐々木 正藏君 加藤 六藏君 工藤 行幹君
武市 庫太君 松島 康作君 安部 井 磐根君

○議長(片岡健吉君) 明後二十五日ハ本會ヲ開クダケノ議案ハアリマス、追テ議事日程ハ公報ニテ通知スルコトニ致シマス、今日ハ是ニテ散會致シマス
午後二時五分散會

栃木外三縣ニ涉ル銅鑛毒被害ニ關スル質問參考書

被害地救済日誌

明治三十四年十二月二十八日 晴

本日午前五時三十分頃馬車中ニ於テ出張員山本隆治、伊東玄亮、谷口清水並ニ續毒事務所特派員大出喜平出會シ午前六時半上野發ノ汽車ニ搭シ被害地ニ向ヒ同八時三十分古河驛へ著シ同町ニテ施療ニ要スル器具藥品等ヲ求メ谷中村ニ下宮ノ諸村ヲ經テ午前十一時三十分群馬縣邑樂郡海老瀬村松本英一方へ著ス

續毒事務所特派員大出喜平、松本英一施療實施ノ件ニ關シ當該村長ト種々交渉ノ結果大ニ便宜ヲ與ヘラル、コトナレリ
到着後暫時ヲ經テ當村役場員小林林一郎來訪本日ハ施療準備ヲナス豫定ノ所東京ヨリ到着スヘキ器具藥品未著ノタメ何事モ成スコトナク一日ヲ暮セリ
明治三十四年十二月二十九日 晴

本日午前十時頃東京ヨリ山本定生、江口千代、藤原素同みの來著
午前十一時頃東京ヨリ藥品等モ到着シ施療院ハ當村避難病院ヲ使用スルコトニ決定シタレハ施療員山本隆治、藤原素同みの、谷口清水ハ直チニ同院へ出張シ山本定生、江口千代ハ暫時被害地視察ノ後午後三時頃來院アリタリ

昨日出張ノ伊藤玄亮ハ江口千代ヲ伴ヒ午前四時古河發ノ汽車ニ搭シ東京ノ途ニ就カレタリ
本日ヨリ診察ヲ始めシモ已ムヲ得サルモノ、外ハ投藥セザリキ之レ藥局不備ノタメナリ
本日施療院へ集リシ患者總數約百數十名中診察ヲ終ヘシモノ内外科十八名眼科二十名
明治三十四年十二月三十日 晴

本日午前八時頃谷中村利島村、河邊村ノ總代診察ノ件ニ付來訪セリ
本日午前九時頃ヨリ診察ヲ始め午後二時晝食ヲシ午後七時閉院ス
本日診察ヲ終ヘ投藥セルモノ内外科六十九名眼科六十二名眼科再來六名ニシテ單ニ診察ノミヲ施セシ

モノ數名往診三名アリタリ
本日當村醫師小野玄仲施療院へ來訪セリ
東京ヨリ基督教青年會ノモノ二名教書地視察トシテ來村セルモ、當施療院へ來院セルニヨリ、木山定生
總ニ診察所藥局ヲ案内シ、山本陸治八十二指屬邊ノ由來ニ付詳細ニ説明シタリ、本夜藤原藤岡ノハハ松
本宅へ泊ス
明治三十四年十二月三十一日 晴

本日午前十時半ヨリ開院午後九時閉院ス
本日ノ患者數左ノ如シ
眼科 新患八十一人 再來二十三人
此他近村ヨリ押掛ケ來リシ患者四五名アリタリ
本日ニテ當海老瀨村ノ診察ヲ終ル答ナリシカハ朝來多數ノ患者押掛ケ來リシモ、遂ニ診察ヲ受クルコト
能ハシテ、歸宅セルモ、略六十人
木山定生ニハ本日午後二時九分古河、汽車ニテ歸京セラル、積リニテ午後一時頃當村ヲ出發セリ
本日午後東京帝國大學文科學生三浦吉兵衛、藤原藤岡同小山東介施療院へ來訪セリ、又田中かつ子(田中
正造夫人)來訪施療員ヘ對シ、一々會釋セリ、本夜藤原藤岡同ノハハ松本宅へ泊ス
東京鐵道事務所員野口春造東京ヨリ來リ、佛教者同盟會ヨリ書面並ヒニ金員ヲ持參セリ、尤モ差出人名ハ
松浦貞藏ナリ
明治三十五年一月一日 晴

午前九時半開院午後九時三十分閉院
本日施療患者數
眼科 百三十三人 內再來十八人 內外科 百一人 同 五人
大出喜平谷口村及ヒ古河町ニ出張シ用辨セリ一行松本英一宅ニ宿ス
明治三十五年一月二日 晴

午前十時四十分開院午後九時閉院
本日施療患者數
內外科 新患八十一人 舊患者七人 眼科 新患九十六人 舊患者十數人
午後一時頃寶洞大學林生山田仙遊多飯道海小島佛海外二三子來訪セリ
午後二時半頃植信秀來著
松本英一宅ニトマル
明治三十五年一月三日 晴

午前十一時半開院午後八時閉院
本日施療患者數
內外科 再來四十三人 新患十九人 眼科 再來四十五人 新患二十五人
午前十一時半頃口春造、安蘇郡界村總代來院セリ
午後三時半大出喜平界村ニ向ヒ先發セリ
午後二時半頃竹内而順東京ヨリ來著セリ
一行六人松本宅ニヤトル
午後四時頃青山學院學生小澤周外十三子來觀セリ
明治三十五年一月四日 晴

午前中內外科眼科患者新舊合計テ四十名ニ向ヒテ施療セリ
本日器械藥品ヲ結束シ午後四時、本縣安蘇郡界村大字馬門永島禮七宅ニ向ヒテ施療所ヲ移轉セリ
午前十時頃植信秀藤原藤岡京ノ途ニ上レリ
正午頃東京本郷眞砂町醫師矢部眞齊外四名來訪セリ
一行五人(先發ノ大出喜平ヲ合セテ)永島禮七宅ニトマル
午後安蘇郡醫會長清水武文永島宅ニ來訪セシモ一行未著ナリシヲ以テ大出喜平應接セリ、本日午前海老
瀨村字賴子第民本クマニ滋養品一ツ與ヘ竹内而順之ヲ見舞セリ
明治三十五年一月五日
朝來器械藥品ヲ陳列セリ

午後一時頃藤原藤岡歸著セリ
午前八時半竹内而順歸京ノ途ニ上レリ
青年學院學生野口義造、板木中學生三關來院調劑部ノ補助ヲナセリ
界村大字馬門駐在巡査金子由之助來院セリ
本日施療患者數
內科 新患四十九人 舊患三人 眼科 新患八十九人 舊患五人
明治三十五年一月六日 晴

本日午前十時半開院午後八時閉院
本日ノ施療患者數左ノ如シ
內科 新患八十八人 再來十人 眼科 新患百二十四人 再來二十五人
本日モ野口義造、三關太一郎來院藥局ヲ補助セラレタリ
本日午後一時頃東京ヨリ淺野玄秀到著シ患者其他ニ對シ一場ノ法話ヲ試ミタリ
午後六時頃田中正造來宅ニ淺野玄秀面會セリ、本日大出喜平ハ香妻村ヘ出張セリ
明治三十五年一月七日 晴

本日午前九時半開院午後八時閉院シ施療患者數ハ左ノ如シ
內科 新患九十五人 再來六人 眼科 新患二十五人 再來
ニシテ診察ヲ受ケシモノト否トニ係ラス、投藥セルモノハ總數三十五名ナリキ
本日午前中野口義造、三關太一郎藥局ノ補助ヲナシ午後ヨリ當村役場書記小林理三郎、渡瀨村ノ某氏及
ヒ大島村橫山春五郎藥局ノ補助ヲナセリ
橫山春五郎ハ明後九日ヨリ當施療院ニ在院シ藥局詰メタルコトヲ承諾セラレタリ
本日午前十一時半頃淺野玄秀當村ヲ出發シ被褥地ヲ巡迴シテ歸京ノ途ニ就ケリ
本日午前十時半頃大出喜平香妻村ヨリ歸院ス
當院眼科醫官山本陸治ハ續續救濟會ヘ列席ノタメ午後四時頃當村出發歸京セリ
本日ノ訪問客左ノ如シ
西谷田村
田沼三郎、町田佐重、尾崎莊藏、北村儀十郎、石山房吉、青木利三郎、三田善藏
大島村
橫山春五郎 (助役)太田新八 三鴨村 山中常藏 安蘇郡醫會長 清水武文
香妻村ノ新井豐隆、野村千代藏、渡瀨村ノ原彌太郎外一名ハ實況視察トシテ來院シ即日歸村ス
明日海老瀨ニ於テ施療セシ患者再診ノ事ヲ關係各村ニ通知セリ
明治三十五年一月八日

本朝降雪寸余ニ及ヒシモ海老瀨村附近再診ヲ乞フ答ナリシカハ當村施療院內科醫官藤原藤岡ハ午前九
時西谷田村醫士宅ヨリ迎フ、腹車ヲ驅リテ同醫士夫人ヲ診察シ同時ニ大出喜平、谷口清水ハ藤岡ヲ經テ海
老瀨村役場ニ於テ藤原醫士ト出會シ種々村役場員ト交渉ノ末同村松本氏宅ニテ再診ヲナスコトハセリ
診察ハ午後一時ヨリ始メ午後六時ニ於テ閉止ス當日ノ再診患者數ニ初診患者數左ノ如シ
往診二軒 再診 五十四人 初診 十二人
右ノ如ク患者數ノ寡カリシハ全ク通知ノ行キ互タラサリシカ爲メナリ
本日施療員藤原藤岡ノハハ界村施療院ニ留マレリ、潮田松本兩女史田中正造諸氏ノ訪問アリタリ
施療員藤原藤岡ハ大出喜平、谷口清水ハ海老瀨村松本氏宅ヘ一泊ス、田中正造更ニ同所ヲ訪問セラル
明治三十五年一月九日

施療員藤原藤岡ノ一行ハ海老瀨村松本英一宅ニ於テ診察ヲナス
再來 二十二名 新患 十三人
午前十一時半當施療院眼科醫官山本陸治ハ新ラタニ藥局員トシテ村松昌一ヲ伴ヒ海老瀨ニ歸著セシ
ニ付藤原藤岡谷口清水ハ村松昌一ヲ伴ヒ松本宅ヲ發シ界村施療院ヘ歸院ス
午後山本醫士カ海老瀨村ニ於テ診察セシ患者數及藤原醫士カ界施療院ニ於テ診察セシ患者數左ノ如シ
眼科 新患者 二十一人 再來三十三人 內外科 同八人 同 五十二人
本日昨日海老瀨村ニ於テ診察セシ患者其他ニ對シ投藥セシ總數左ノ如シ
新患患者投藥數 百三十名

東京總督府救済會ヨリ在原實城午後二時視察トシテ來村セリ
本日山本醫士ト同道セシ村松昌一及ヒ大島村横山春太郎當歸療院藥局ヘ勤務ス
明治三十五年一月十日 晴
午前九時界村施療院開院(當村部内患者再診ノ豫定)診療患者數左ノ如シ

眼科 再診 新 投藥患者 八十餘人

内科(午前中) 再來二十五人 新來八人
谷口清水辭シテ東京ニ歸ル爲メ午前十時界村ヲ發シ附近ノ被害地ヲ視察シ佐野驥ニ向フ
在原實城大出喜平ト共ニ午前十時界村ヲ發シ沿道被害地ヲ視察シ窮民ヲ訪問シ、午後二時半馬縣
邑樂郡渡瀨村雲龍寺ニ著セリ
藤原藩午後二時界村ヲ發シ渡瀨村雲龍寺ニ著午後三時直ニ第三施療院ヲ開設シ患者ヲ診察シ午後七
時ニ了ル

診察新患者數 三十九人

界村施療院ヲ午後四時ヲ以テ閉テ直ニ藥品器械ヲ結束シテ渡瀨村ニ移リ午後八時山本陸治村松
昌一、横山春五郎、藤原みのぶ等一行雲龍寺ニ著ス此日横濱病院院長須藤續作界村施療院ヲ訪ヒ施療員及
ヒ患者ヲ寫眞セリ
明治三十五年一月十一日 晴
午前七時開院ノ設備備付ケ等ヲナシ九時半患者ノ診察ヲ初ム午後八時開院

眼科 新患者七十三人 再來七人(内科投藥患者數 百〇三人)

在原實城藤原みのぶ午前中附近被害地視察シ窮民ヲ訪問セリ
大出喜平所用ヲ帶ヒ大島村ニ赴ク
界村永島 訪問セラル
一行五人雲龍寺ニ泊ス
明治三十五年一月十二日 晴
午前八時開院午後八時開院

眼科 新患者百〇五人 再來十八人

救済會派出員鶴高隆憲及ヒ谷口清水東京ヨリ來ル看護婦永守キチ同時ニ來著シ斯業ノタメニツクスコ
トナレリ
午前七時大出喜平歸院
當日訪問左ノ如シ
永島禮七同人ハ所員一同ニ謝辭ヲ述ヘ次テ受診者一同ニ向フテ一場ノ演說ヲセラレタリ
明治三十五年一月十三日 晴

眼科 新患者百五十四人 再來三十人

午前八時開院午後八時開院
内科 新患者百二十七人 再來十三人 眼科 百三十九人 再來五十二人
午後二時本部ヨリ松本願朗出張セリ同時ニ本郷駒込西教寺住職村松賢朗、石村清七、島田初藏來院一行
附近ノ地ヲ視察セリ
鶴高隆憲谷口清水藤原みのぶ午前十時半頃ヨリ附近ノ地ヲ視察セリ
午後八時頃谷口清水歸京ノ途ニ上レリ
一行十二人雲龍寺ニ泊ス
明治三十五年一月十四日

眼科 新患者六十三人 出張新患者十人 再診十三人

午前七時開院
眼科 新患者八十五人 出張新患者十九人 再來四十七人投藥ノミノ數四十五人
午前十時診察ヲ中止シ吾妻村大字下羽田窮民ノ病者數名ヲ往診シ上下高橋ヲ歷テ富田村大字奥戸ノ裏
ナル被害激甚地ヲ踏査シ奥戸窮民ノ病者内外科共十數名ヲ診察シテ各病者ニ處方箋ヲ與ヘ施療所ニ來
リテ藥ヲ求ムヘキコトヲ諭シ同村ヲ渡リ越エテ久野村堤上ニ出テ所謂野田ノ毒塚ヲ點檢シ下野田高橋
下羽田ヲ歷テ歸院シ更ニ診察ヲナス 一行ハ山本藤原兩醫士並ニ藤原みのぶ黑崎藩外數名ノ案内アリ
キ是ヨリサキ午前九時

村松賢朗、松本願朗、石村清七、島田初藏ノ四氏ハ雲龍寺裏ナル被害激甚地ヨリ下羽田窮民ノ家ヲ訪問セ
ラレテ歸院シ村松賢朗、石村清七、島田初藏鶴高隆憲ノ四氏ハ界村被害地ヲ視察ノ上歸京セシ豫定ニテ
零時三十分施療院ヲ出發セリ
界犬伏、大島植野、西谷田總代系井藤次郎黒田善平來院シ施療
明治三十五年一月十五日 晴
ニ對スル謝狀ヲ持參セリ

内科 診察數名 眼科 診察二十一(新島) 再來二十人
藤原氏夫妻本日午前八時歸京ノ途ニ就カシ所員一同施療院移轉ノ爲メ器具藥品ヲ結束シテ渡瀨河岸ヨリ
船ニ積ミ渡瀨川ヲ下リ山本陸治ハ船津川病者診察ノ上宇中渡ヨリ乘船シ他數名モ同行乘船シ一行西
谷田ニ上陸シ高山激甚地ヲ視察シ永島禮七宅ニ入り開院ノ設備ヲナス 鈴木萬次郎視察ニ來リ之ヲ旅宿
富田屋ニ訪フ
本日マテ施療セシ患者ヲ町村別ニ集計セハ左ノ如シ

海老瀬村	三百二十五人	利島村	七十八人	吾妻村	百九十九人
西谷田村	五十八人	新合村	四十四人	久野村	百十七人
大島村	四十七人	谷中村	三十四人	其 他	五人
渡瀨村	百五十七人	界 村	百四十二人	毛 野 村	六十一人
多々良村	二十九人	犬伏町	三十五人		
川邊村	九十八人	植野村	九十二人		